



検索

保険一括見積もりで全引500円商品券!

4月10日(木)第2回目合宿初日

午後1時頃、自宅を出て長野県松本市へ向かう。「スーパーあずさ」から観える景色が桜満開で非常に美しかった。

3時間弱で到着。歩いて10分程のパンプキンヘッドを目指す。やはり東京に比べて若干肌寒い。しかし道ゆく人は俺より皆薄着だった。

懐かしの部屋へ着いてくつろぐ。程なくして大阪チーム到着。全員で夕食がてらの居酒屋へ向かう。飲みながら前回出来た曲についてのミーティング。細かいアレンジのアイデアを出し合い明日のスタジオで試す事に。ペーさんが8曲分の歌詞のアウトラインを作ってきた。皆でチェックしながら意見交換をする。

3時間程飲んで場所を変える。昔からのガーリックボーイズのお客さんで、現在松本で飲み屋を営んでいるカヨさんのお店へ行く。隣のボックスのおっさんのカラオケにグッたりするが、妙な意地を張りテンションあげて大騒ぎする。ラリーさんオハコの「月のあかり」熱唱。ペーさんデルタでノックアウト。呪文のように繰り返す。お店の人が気を使って「あんた飛ばし過ぎ」のカラオケを入れてくれるが、我々にとって酔いが覚める要因にしかならなかった。個人的に初めて聴いたがものすごい仕上がりであった。

帰りに「亀の家」のラーメンを食ってすぐ帰る。皆移動で疲れていたため夜12時前に就寝。カヨさん、ごちそうさまで。お世話になりました。



顔を会すのは
一ヶ月以上振り
久々に
集合しました

「亀の家」で
ラーメン食ってます



既に寝ている
人もいます



布団しいてます。
明日からいよいよ
スタートです



わしも一旦、クリックしてみようかな。



検索

保険一括見積もりで全プレ500円商品券!

4月11日(金)合宿2日目

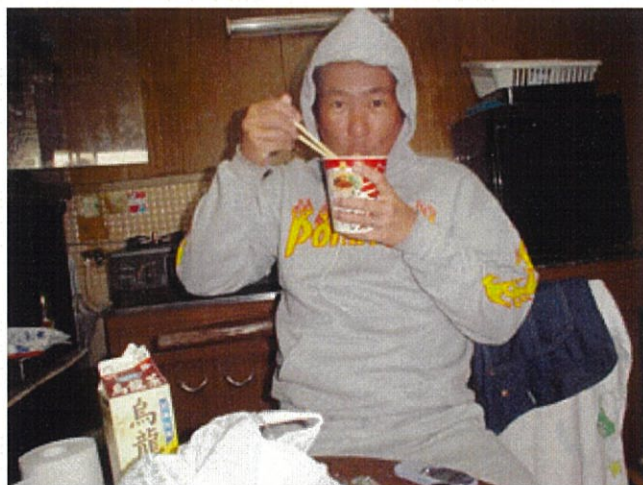
朝10時頃起床。昨夜帰りに買っておいだコンビニ食で朝食をすます。コタツを囲んで今一度ペーさんの歌詞を見ながらミーティング。言葉のチョイスで意見が割れる。2時間程話し合ったが結論は出ず、とりあえずスタジオで合わせてみる事。

機材を運び準備する。前回アウトラインまでしか出来ず、仮タイトルもきまらな かった曲の手直しから始める。ミドルテンポのかなり勢いある曲で、当初はそれほど 重要視していなかったが、素材を聞き直していると意外に出来が良く、アルバムの オープニングチューンにしてはという意見まで出た。3時間程アレンジを繰り返して かなりの秀曲になる。ガーリックでは今までやった事の無いアレンジを施した。ライブで演るのが楽しみな一曲になる。歌詞のネタを考慮して仮タイトルを「はなとそマン」にする。ドラムアレンジでパーカッションを多用する為、コパヤンが楽器を手配 をする事に。完成が楽しみ。

休憩を挟んで、これまた前回仮タイトルも決まらなかった曲のアレンジをする。ペーさんがお気に入りだった曲で「自殺同盟」というタイトルで歌詞をつけて来た。個人的に歌詞は非常に好みだったが、曲と合わせると言葉の響きが今一つで、メロディーのアレンジをやり直す事に。サビの部分を作り直しているとAメロが合わず、A メロを変えるとイントロが合わずといった具合で次々アレンジを重ね、最後には原曲 のパートは何一つ残らない新曲に仕上がってしまった。しかしこれは良い。ミドルテンポでどっしりとした印象の泣ける一曲にある。ラリーさんのアイデアで仮タイトル は「こけし転がし」になる。

午後6時頃から「荒野のさびしん坊」の最終アレンジに入る。歌詞入りで歌ってみるが、午前のミーティングで意見が割れた通り、内容が難しすぎて伝わらない為練り直す事に。その後2時間程掛け構成の最終アレンジまではこぎ着ける。

部屋に戻り、歌詞の内容について今一度ミーティング。夕食を挟んで遅くまで話し合う。ペーさん風呂場に2時間も入り歌詞を練り直す。完成までは至らなかったが、おかげでかなり面白いものになりそう。仮タイトルは「敬礼 荒野のさびしん棒」に変更。午前3時就寝。



ペーさん朝食中
カップラーメン以外の
朝食を見た事無い
です



コバヤンの寝起き
怒ってる訳ではあ
りません



久々のスタジオ
その1



その2





検索

保険一括見積もりで全ﾌﾟﾚ500円商品券!

4月12日(土)合宿3日目

午前11時頃起床。朝食後、ラリーさんの生ギターで軽く楽曲のミーティングの後スタジオへ。前回の合宿の「衰えてシネマ」という仮タイトル曲のアレンジに取りかかる。ペーさんが歌詞をつけて来た。タイトル「いやしい系」。曰く、絶対流行るとの事。メンバー全員眉唾。合わせてみるとなかなか良い感じ。2時間程細かい手直しをする事で楽曲、メロディーは一応の完成をみる。これまた最近のガーリックには無い楽曲に仕上がる。歌詞については今一度ミーティングする事に。

遅い昼食の後、仮タイトル「秘密」の最終アレンジ。ペーさんが作って来た歌詞がかなり笑える。「12の春」の女の子版のような内容で力作である。アレンジもほとんど無くマイナーチェンジしただけで完成する。最終タイトルは「コバルトラブ」に決定する。メジャーコードの明るい曲に一見せつなような歌詞のアンバランスさが絶妙な秀曲になる。

その後、「嘆き尻」の最終アレンジ。前回かなり納得のいくラインまで出来ていた為、スムーズに完成する。さらにパワーアップした曲に満足であった。

午後6時頃から「乙女のたっぷり毛」のアレンジにとりかかる。メロディーのラインは完成しているが、楽曲的に今一つ納得いかない為イントロその他を作り直す事に。

3時間程かけてアレンジをし直す。意見も割れてかなり難航したがどうにか納得いくラインまで持って行く。しかしイントロの雰囲気が変わった為ペーさんAメロのラインで悩みだす。

午後8時作業終了。皆で近所のスーパーへ夕食の買出し。バンド費で酒と肴を買い、晩酌とミーティング。録音した楽曲を聴きながら歌詞について話し合う。やはり「乙女のたっぷり毛」のAメロでぶつかる。ここへ来て今まで燻っていた不満が爆発した。歌詞の意味あいを大事にしたいペーさんと、聞こえて来る言葉の響きが物足りないラリーさんで意見が真二つに別れる。酒もまわっていた為話し合いはいつしか怒鳴りあい。内容もAメロの話から作詞に対する姿勢、普段の態度といった事に脱線して行き収集がつかない程険悪になる。2人とも楽曲の向上という部分では共通しているが故、意見がまったく噛み合わない。気がつくや午前2時を回っていた。明日はスタジオに入るのを止めて、歌詞の見直しの時間を設ける事で一応の解決をみる。しかしその後も「嘆き尻」の歌詞で俺とペーさんがもめる。ペーさんごめん酔っぱらってた。午前5時30分就寝。



スーパーへ買出し

「かえる」らしいです



この写真はマジです



こわ



検索

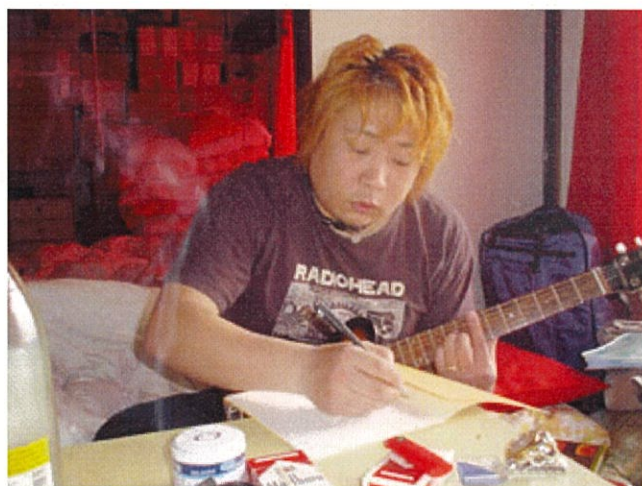
保険一括見積もりで全ブレ500円商品券!

4月13日(日)OFF日

午前11時起床。体臭が臭い。気がつけば俺だけ4日間も風呂に入っていなかった。お湯を湧かし湯舟に浸かりサッパリする。午後から皆思い思いに過ごす。ラリーさんはミニギターで出来た楽曲のおさらい。コバヤンはMDの編集。ペーさんは外へ出て歌詞を作っていた。ラリーさんと生ギターで完成した楽曲の細かいコードチェックをする。マイナーチェンジを施し、合宿中にもう一度スタジオで合わせる事に。

午後5時頃、松本城で花見のイベントがあると聞き皆で出かけてみる。近所なのに今まで行った事が無かったが、なかなか立派なお城であった。しかし人影はまばらで桜も一分咲きといった所で、とても花見イベントといった雰囲気は感じられず、城の周りを一周してしょんぼり帰る。途中、松本のおなじみ「大砲」モサ夫妻から電話が入り飲みに行く事に。PALCOで待ち合わせて近所の居酒屋へ。久しぶりにニューアルバム以外の話題で盛り上がる。閉店まで飲んで中華料理屋で二次会。帰宅は午前3時であった。

部屋に着いてラリーさん、コバヤンと新しい楽曲のミーティング。泥酔の為、まともなトークは殆ど出来なかったが、ラリーさんの構想は興味深く新曲の期待が高まる。午前5時就寝。



出来た曲のコードを
ノートにつけて確認する
こうすると意外な発見があるのです



終始ダニに悩まされた
ペーさん
布団干しは欠かせません



パンプキンヘッド
の前にて



団体旅行客用の
座席に
勝手に座って一枚



まだありました








おじいちゃんをクリックしてよかったね！



[保険一括見積もりで全プレ500円商品券!](#)

4月15日(火)合宿6日目

午後1時頃起床。朝食をとったり風呂に入ったり個人練習したりと皆自由に過ごす。ラリーさんがこの2日間、生ギターで新曲のアウトラインを3曲も完成させていた。生ベースと一緒に合奏。かなり手ごたえがある。

ある程度構成が出来た所でスタジオへ。軽く3曲とも録音した所で、細かいアレンジへ。とりあえず速い曲から仕上げる。最近のアルバムでは考えられない程ストレートで、イケイケの曲が仕上がる。かなりライブ向きの曲で仮タイトルが「戦え、エロ坊主」になる。ベースで面白い仕掛けをレコーディングでする事に。なかなか楽しみ。

午後7時頃から2曲目のアレンジへ。今回の楽曲の中で一番スローテンポで大きいノリの曲。イントロのリフは前回の合宿で素材として出来ていた物で、俺が異常にお気に入りだった為ラリーさんが復活させてくれた。

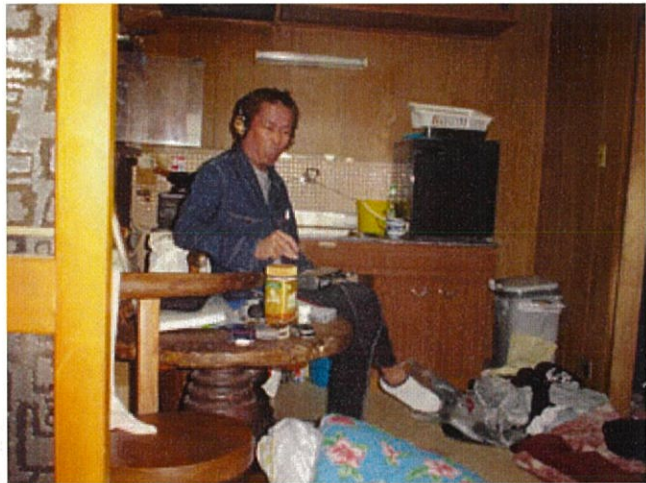
メジャーともマイナーともとれる印象でかなり面白い曲に仕上がる。メロディーの細かいアレンジまでは至らなかったが、構成等完成させた所で本日の作業は終了。3曲目の曲は今回見送る事に。午後11時。

コンビニで買い物をして遅い夕食とミーティング。本日でレコーディング予定の曲が9曲揃う。アルバムの全体像がかなり明確に見えて来た。後5日の合宿スケジュール等を話し合う。ペーさんの歌詞待ちの曲など多い為、出来上がった時点でランダムに仕上げて行く事に。今回歌詞に関して、ちょっとペーさんがスランプ気味。自分の中で表現方法がまとまらなかったり、メンバーの意向を取り入れたいとの思いからまとまらなかったりと歌詞がなかなか前に進めないらしい。それについて朝方まで話し合う。皆の叱咤激励、提案があり基本的に原点回帰する方向で一応の解決をみる。仕上がっている歌詞はかなりの出来なので頑張ってもらいたい。午前5時就寝。



宿泊してるマンション

今回の曲は全部このミニギターで出来ました



考え中...考え中...



確実に毎日通う
コンビニの前にて
楽しそうです



4月16日(水)合宿7日目

午後12時頃起床。玄関前に以下の内容のはり紙(写真.1参照)がしてある。昨夜は少し暖かった為、窓を開けていたのをすっかり忘れそのまま深夜まで騒いでしまった。なんとも情けない。30もとくに過ぎたおっさんが4人も揃って赤面の至りである。お詫びの手紙を書いて隣の玄関に挟んでおく。御近所の方、大変申し訳ありませんでした。

松本に来て本日で一週間目。天気も良い為、洗濯をする事に。暖かくなってきて桜も咲き始めている。今年は2回花見が楽しめそう。洗濯を待つ間、近所のCD屋へ。最近昔の所謂、不良ロックバンドがお気に入り、衝動的にキャロルのDVDを買ってしまう。ラリーさんも先日のキャロルに続いてクールスにまで手を出しベストを買ってしまう。

午後5時頃スタジオに入る。実は少し前のミーティングの時から「GARLIC BOYS」と言うタイトルの楽曲を作りたいと提案していた。昔聴いていたヘビーマタルバンドが自らのバンド名の楽曲を良く演っていたし、今作はオリジナルアルバム10枚目でもあり、なにか節目のような物を作りたいと感じていたからだ。しかし、漠然とタイトルだけあってもどういった楽曲にするのか、どういった歌詞にという問題があった為、今まで手を付けられずにいた。案の定、スタジオで色々試すがどうもしっくり来ない。「GARLIC BOYS」という名前を具体的な音で表現し切れないのだ。

その後、2時間程あれこれやった結果、出た結論はやはり原点回帰であった。ラリーさんが冗談半分で弾きだしたリフは、昔ガーリックボーイズがビートパンクと呼ばれていた頃を彷彿とさせる物で、最近どこかこだわって無意識にそれを否定していたバンド内の空気を一掃した。色々やってみたが、現時点ではこの感じが一番イメージ的にもしっくり来ていた。ペーさんの歌詞が楽しみ。ある程度のラインが出来た所で本日は終了。午後9時。

コンビニで夕食を買い、クールスのベストを聴きながらコタツでまったりする。はり紙の一件もあり、非常に静かな夜だった。館ひろしの甘い歌声に身をゆだねながら眠りにつく。クールス歌詞凄いです。色んな意味で.....

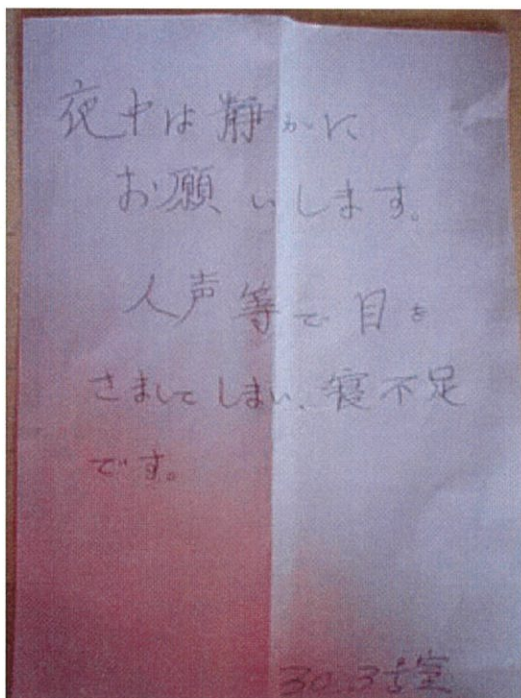
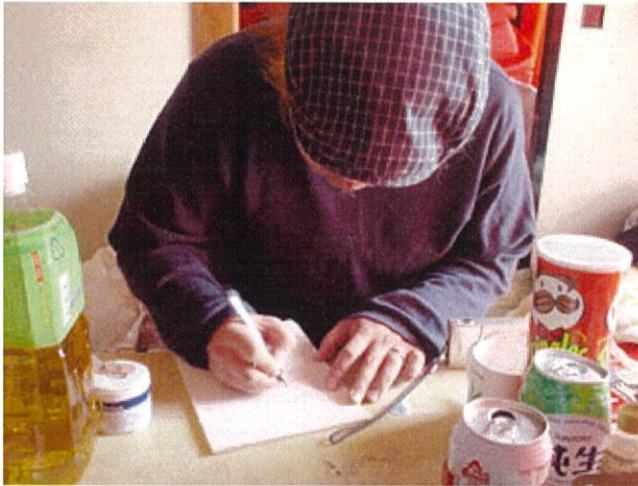


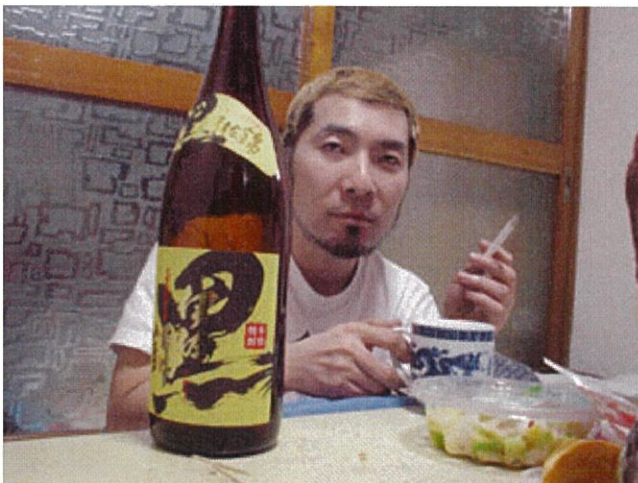
写真.1
ヒイ～
どーもごめんなさい



お詫びのおてまみをしたためるラリーさん
書き直し3回



洗濯中です



酒と俺

明日も大漁 小早川さん

合宿collection
ジョニーさん最高です



200万人の interQ MEMBERS isweb COOL
ホームページ選手権 2004 開催中

どや？
オレのページ

infoseek
検索
保険一括見積もりで全ブレ500円商品券!

4月17日(木)合宿8日目

午後12時頃起床。ペーさんの姿は無く、既にスタジオで個人練習をしていた。朝食の後、コバヤン、ラリーさんがレコーディングに必要な機材を買いに楽器屋へ行くので一緒に外へ出る。驚く程暖かい。Tシャツ一枚で十分だった。

一時間程ブラブラしてスタジオへ戻ると、ペーさんが一昨日作ったスローテンポの曲にサビの歌詞とメロディーをつけていた。早速スタジオで合わせるとかなり良い感じ。一気に完成形のイメージが出来上がる。しばらく細かいアレンジをして、全体の歌詞待ちにする。仮タイトルは「自殺同盟」になる。今回の合宿でボツになった曲で使っていたが、歌詞の出来が良かったのでこの曲で復活させた。

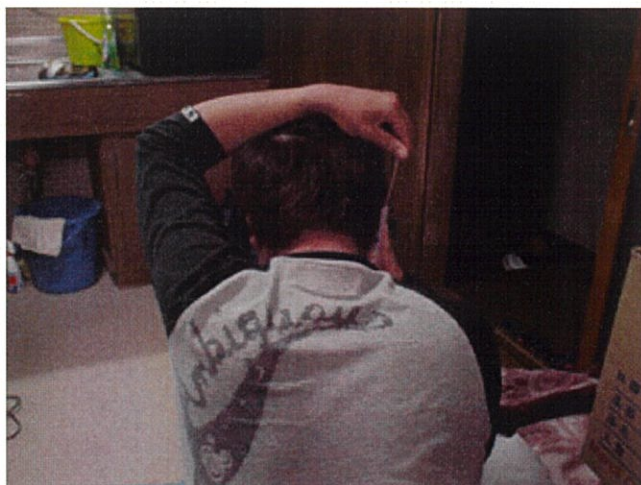
休憩の後、「敬礼 荒野のさびしん棒」の歌詞をペーさんが練り直したので、先日部屋でコードチェックした際考えたマイナーチェンジと合わせて皆で試してみる。かなりの出来で、歌詞ノートを見て思わず笑ってしまった。録音したテイクを聴きながら、皆で言葉の細かいチェック。日本語故、聞こえ方には細心の注意を払う。と同時に歌詞中のネタにもかなりこだわる。1時間以上この作業を繰り返し完成させた。後はレコーディング中の作業とする。

午後6時頃から「いやしい系」の歌詞チェックとマイナーアレンジ。これも上記と同じ作業を繰り返し、かなり笑える歌詞になる。歌詞中のネタを一部再考する事にし、一応の完成を見る。

午後9時頃作業終了。疲労困憊の為、栄養をつけようと前回行った台湾料理屋へ。久しぶりのコンビニ以外の温かい料理に舌鼓を打つ。部屋へ帰ってから昨夜同様、静かにまったり過ごす。各自それぞれの作業に没頭していた。午前4時就寝。



朝食風景
ラリーさん
ボブサップ焼そば完食



ペーさんお得意ポーズ
携帯壊れてる為、
左手でアンテナを持ち
全身で電波を集めます



コバヤンMD編集集中



近所の桜

BACK TOP NEXT

200万人の interQ MEMBERS isweb COOL
ホームページ選手権 2004 開催中 どや？
オレのページ

200万人の
interQ MEMBERS isweb COOL

ホームページ選手権 2004 開催中

どや？
おれのページ

 infoseek
検索
保険一括見積もりで全ﾌﾟﾚ500円商品券!

4月18日(金)合宿9日目

昼12時頃起床。昨日同様、ペーさんは一人スタジオへ。本来の調子が戻って来た模様。歌詞のアイディアも弾けてきて、良い意味の下品さがまして来た。

ラリーさんが「戦え エロ坊主」のギターアレンジをしたので部屋で打ち合わせする。

程なくしてペーさんが戻って来たので気分転換に松本城の桜を見に行く。本日も温かく気温は22度を超えていた。平日と言うのにかなりの人が集まって宴会をしていて賑やかだ。桜はちょうど満開で非常に美しく、青空を背景に従えたお城に文字どおり華を添えていた。

内堀の中に入ろうとすると有料だった為しばし悩むが、お城と民俗資料館へも入れるとの事で520円支払う。城内の展示物を眺めながら天守閣へ。美しい山々に囲まれた松本はかなり絶景であった。

庭園でぼんやり桜を眺めながら春の日差しに身を委ねる。時折流れる風が穏やかで、春の匂いを感じさせ非常に心地よかった。その後、すぐ横にある民俗資料館へ。江戸時代の物であろうか、歌詞の題材として使える展示物(写真、4参照)があり採用する事に。とても有意義で良い気分転換になった。

午後6時頃戻りスタジオへ。ペーさんは作詞活動の為、一人部屋にこもる。

昨夜、ラリーさんと出来上がった楽曲を聴いて、バランス的にもう一曲絶叫系のヘヴィチューンが欲しいと言う話になり試してみる事に。作り始めると、意外な程早い時間でラリーさんが曲のアウトラインを仕上げる。「凶暴」という言葉がイメージにピッタリの曲で、久し振りにコバヤンのブラストが炸裂する秀曲になる。

2時間程細かいアレンジをしていると、ペーさんが夜桜のイベントがあるのでまたお城へ行こうと誘いに来る。先日お城へ行ってやって無かったイベントはどうやら日にちを間違えていたらしい。

作業を止めてお城へ向かう。夜になり少し肌寒くなっていたが、昼以上の人出で賑わっていた。内堀も無料で開放されていたが、何故か正月に良く聴く琴の曲が大音量で鳴り響いていて思わず失笑してしまった。桜はライトアップされ昼とは違う印象で、なかなか妖艶で美しかったが、肝心のイベントと呼べるものは既に終わっていたのか何も無く、紅白の垂れ幕の中でお茶屋が来店しているだけでどこかしょぼりモードだった。

薄着で来た為、耐えられなくなり帰る。帰りに酒屋とコンビニで買い出しして部屋飲みとミーティング。コバヤンから「GARLIC BOYS」をアルバムのオープニングに持って来れるように、もっと簡潔で単純な曲にしてはとの意見が出る。議論の結果とりあえず先日出た曲はキープしておいて明日試してみる事に。同時にペーさんの歌詞の進行状況を考慮して楽曲の制作はこれで最後にする事になる。

また「戦え エロ坊主」は歌詞のネタ的につまらないので、仮タイトルを「毒ロック」にして作り直す事になる。

午後11時をまわり、珍しく(でもないが)コバヤンが悪酔いして暴走し始める。目の焦点の定まらないままラリーさんの手相を見る。コバヤンが手相を見れるとは10年以上付き合ってきたが初耳だ。曰くラリーさんは120歳まで生きるらしい。眉にしわがよったままの笑顔で夜はふけて行く。焼酎の一升瓶は一晩で空いってしまった。



桜満開 松本城



あ、UFO！
ソ ...ウ

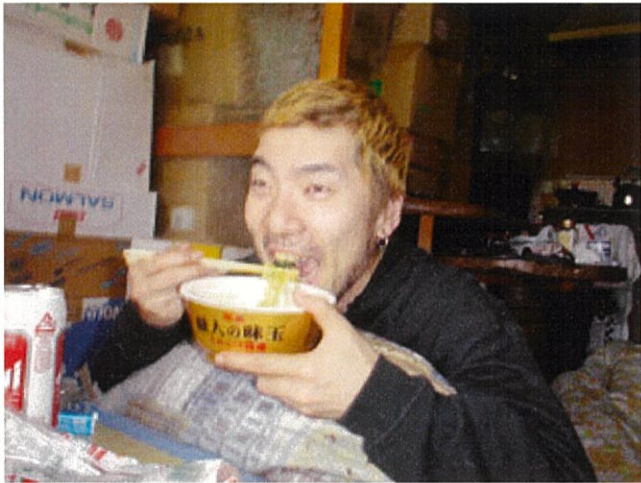


お城から観える風景



写真.4 通称「おんまら様」
「荒野のさびしん棒」にて
こいつが 歌詞に出て来
ます

120歳まで生きると
いわれた手相



鑑定した人

BACK

TOP

NEXT

200万人の

interQ MEMBERS isweb COOL

ホームページ選手権2004開催中

どや？
オレのページ

interQ MEMBERS



検索

保険一括見積もりで全500円商品券!

4月19日(金)合宿10日目

昼頃起きて朝食をとる。この日記をつけながらふと気が付いたが、もう10日も世間と完全に隔離している。部屋にはTVもあるが一度もスイッチが入った事は無く、インターネットもPCの不具合でほとんど繋がらない為まったく見ない。コンビニとスタジオにしか行かない日々。世捨て人とはまさに我々のような者の事であろう。例の戦争とか今はどうなっているのやら。

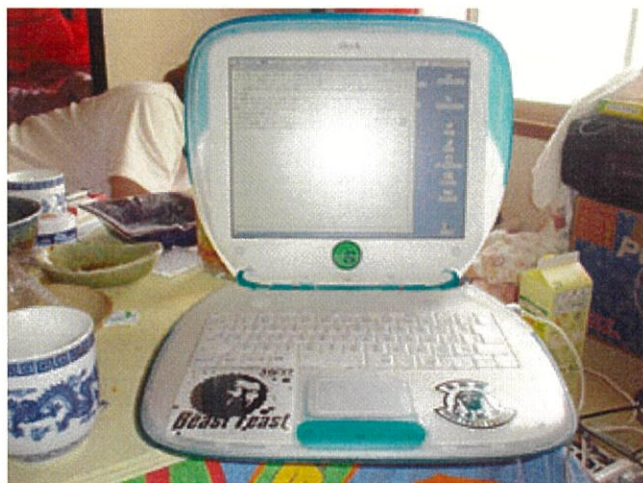
午後3時頃からスタジオへ入る。昨夜の予定どおり「GARLIC BOYS」の制作から取りかかる。ラリーさんが部屋でコパヤンの意向通りの曲のアウトラインを作っていた為以外とすんなり出来上がる。約1分のメロディーも殆ど無い激しい曲だ。その後、前回作った「GARLIC BOYS」にマーチのようなイントロとサビを加えこれも一応完成させた。

どちらを正式な「GARLIC BOYS」にするか、ミーティングルームで聴き比べ検討する。全くタイプの違う曲の上、それぞれの曲が持つイメージが、アルバムの一曲目に来るべき曲とアルバムの最後に来るべき曲に別れる為、今作のトータルイメージにまで関わって来て意見がかなり別れた。更にペーさんから現在の作業状況では昨日作った絶叫系の曲を仕上げるのは時間的に厳しいとの発言もあり、もう一度最初からアルバムのイメージを検討する余地も出て来て議論は完全に暗礁に乗り上げた。

午後5時頃、空気が重くなり過ぎた為、しばらく休憩しようとした所、ラリーさんから、ならばもう一曲作ってみようとの意見が出る。アルバムの一曲目に相応しくて、ボーカルも絶叫する曲を作ろうと言うのだ。前出の2曲の仕上がりは大変良く、合宿も残す所あと一日で時間的にも厳しい中、その意見は無謀とも思われたが、皆の心配は杞憂に終わった。昨夜俺が考えていた新しい「GARLIC BOYS」という曲のイメージをラリーさんに伝えていた所、スタジオでそのイメージそのままの曲のアウトラインを仕上げてしまった。かなり良い。1分30秒足らずの曲だが今作の一曲目にはまさに相応しく、「GARLIC BOYS」と呼ぶに値する秀曲になる。

しばらくアレンジして完成させる。これで今作の収録曲が出揃った。快心のアルバムになる予感がする。ボツになった前出の「GARLIC BOYS」2曲と絶叫系の曲は歌詞の出来とレコーディングの時間に余裕があれば録音する事になる。その後、「毒ロック」の細かいアレンジをして完成させ本日の作業を終了する。

夜、全曲聴いてミーティングとプレ打ち上げ。無事収録曲を全て作曲したラリーさんは肩の荷がおりたのか、いつもよりも饒舌であった。



もはやワープロとしてしか
使ってません



松本の風景



ホッと一息
湯舟小さ過ぎます

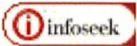




楽天
ICHIBA

で、息さわやか！





検索

保険一括見積もりで全プレ500円商品券!

4月20日(日)合宿最終日

昼1時頃起床。最終日恒例の全曲おさらいをする。パンプキンヘッドのスタッフの人に全曲録音する旨を伝えた所、快く録音機材等貸してくれた上、PAのバランスまでとってくれた。この場を借りて感謝致します。

午後3時頃から録音を始める。ペーさんが新たに作って来た歌詞を見ながら、細かいアレンジをさらに加えて一曲ごと確かめるように録音していった。

収録予定曲

- 1、GARLIC BOYS
- 2、嘆き尻
- 3、乙女のたっぱり毛
- 4、荒野のさびしん棒
- 5、自殺同盟
- 6、コバルトラブ
- 7、いやしい系(曲名のみ仮)
- 8、こけし転がし(仮)
- 9、はなくそマン(仮)
- 10、毒ロック(仮)

以上10曲が収録決定している曲で(仮)が付いている曲はまだ歌詞が決定していない曲になる。

次点録音予定曲

- 1、GARLIC BOYS #1→「エロ坊主」に仮タイトル変更
- 2、GARLIC BOYS #2→「軍歌チャンチャカチャン」に仮タイトル変更
- 3、絶叫の曲

以上3曲はレコーディングの進行状況と歌詞の出来により録音予定。

次次点

- 1、J J DISCO

この曲は前回の合宿の際作ったロックンロール調の曲にペーさんが歌詞をつけて来ていたので一応録音した。

午後10時頃作業終了。打ち上げに先日行った中華料理屋へ。

懐かしの青島ビールで乾杯。ピータンに舌鼓を打つ。意識している訳では無かったが、音楽の話は誰の口からも最後まで一切出なかった。ただそこにある手応えだけは皆感じているようだった。

3時間程飲んで締めめのラーメン屋へ。ラリーさんが「当店自慢 超激辛タンタン麺」に挑戦。見事完食で合宿を締めくくる。外は寒かったが、部屋に戻るまでラリーさんの汗が止まる事は無かった。

最終日ですなあ



今回の合宿で飲んだ酒
前回よりは大人しいです



皆さんお疲れさま
でした

おまけ

実録！ ラリーと**超激辛**坦々麺



店主から再三の忠告を受けたにも関わらず、
約50倍の辛さの坦々麺に挑むラリー
(手前が通常の坦々麺)



くう～辛いつ
麺は完食しましたが
かなりこたえてます



ああ、箸が止まってしまった
もうダメか、ダメなのか



店主の「無理しない方が(笑)」との
発言に燃え上がるラリー
「なめんなよっ」

やった、やりました！
見事完食です。



次回TVチャンピオンの出場が
決まったラリーさんでした。

BACK TOP NEXT



楽天
I C H I B A

で、息さわやか!




[infoseek](#)
[検索](#)
[保険一括見積もりで全ﾌﾟﾚ500円商品券!](#)

4月21日(月)OFF日

昨日で合宿が終了した為、大砲のモサがお疲れ様の意味も込めて「長野一泊観光&バーベキューお楽しみ会」を催してくれる。前回の合宿も合わせると約1ヶ月位長野県に居るのに、松本市駅半径5Km以上出た事が無い我々を憂いたモサが地元の大町市を案内してくれた。

昼2時頃、わざとらしくガーリックのTシャツを着てモサ登場。マネージャーのブルースよしこと、ペーさんの奥さんも駆け付け総勢7人で大町市を目指す。あいにく天気は雨混じりの曇りでアルプス山脈は見えなかったが、合宿から開放された喜びから気分は晴々としたものだった。

まずは本日宿泊するロッジへ向かう。カナダ産ログハウス風の宿泊施設でかなり贅沢な造り。モサの知り合いが経営していてロハで泊れるとの事。新築らしく部屋の中も綺麗な上、広々としていて一同感激に浸る。

荷物を置いて、これまたモサの知り合いの温泉旅館へ。天然温泉に浸かり疲れを癒す。外に観える桜の木はまだ蕾が出来た位で咲く気配は全く無い。この辺りはゴールデンウィーク頃が最盛期らしく観光客もまばらだ。おかげで湯殿も貸しきりでかなりのんびり出来た。

サッパリした所で近所の湖へ行く。スワンボートもあるとの事で張り切って向かうが、我々を迎えたのはどんよりした空に身を切るような寒風と狂ったように波立つ湖面だった。湖縁に佇むスワンの頭は激しく左右に傾ぎ、その口元に刻まれた微かな笑みが物悲しさをさらに際立たせていた。

一人どうしてもピンクのスワンに乗りたいと喚くブルースよしこをなだめ、龍神湖の上にある七倉ダムへ向かう。「晴れていたら綺麗なんスけどねぇ」と言っていたモサの言葉通り、景色はかなりの絶景であったが、先程から降り続く雨は何時しか「みぞれ」に変わり、我々の体温と表情を奪っていった。それでも川の水を飲んでみたり、吊り橋を渡ってみたりとそれなりに遊んでロッジに戻る。なかなか面白かった。

日が暮れた辺りから本日のメインのバーベキューを始める。モサの奥さんが物凄い量の食材を用意してくれていた。ビールサーバーまであり大変豪勢である。

乾杯後、庭に鉄板を備え付け、モサのアウトドア教室が始まる。手際良く火をおこし次々肉を焼いて行く。かなり美味だったが、春の装いの我々は先程から体の震えが止まらない。折からの強風でキャベツも飛んで行く始末。流石にここまで寒いのは珍しいらしく、一応アウトドアは体験したという事であえなく退散。部屋にホットプレートを出して仕切り直す。

暖房の中、普段ではお目にかかれないであろう新鮮野菜に舌鼓を打つ。程なく大砲のシゲジも駆け付け賑やかに夜はふけて行った。

私事だがこの夜飲み過ぎで3回便器に顔を埋めた。



あいにくの曇り空です



龍神湖にて
かなり寒いです



ブルースよしこに「アー写にどう？」
と聞いた所「これから夏だよ」
と言われました。そりゃそーだ



ふきのとう



バーベです

BACK

TOP

NEXT



interQ MEMBERS

infoseek

検索

保険一括見積もりで全引500円商品券!

4月22日(火)終了日

朝9時頃モサに起こされ起床。割れそうに頭が痛い。本当に飲み過ぎた。隣を見るとラリーさんがベッドから転げ落ちたまま隙間で器用に寝ていた。飲み過ぎたのは俺だけでは無かったようだ。

外を見ると昨日とは打って変わって抜けるような快晴。残雪のアルプスがとても美しい。こんな大自然の中泥人形のようにになっている自分を呪った。どうにか歯を磨いているとまたも嘔吐してしまう。

本日はもう少し奥地まで足を延ばして観光する予定だったが、長期による合宿の疲労蓄積と二日酔いの為、このまままっすぐ帰る事に。モサ夫妻には本当にお世話になった。この場を借りて最大級の感謝を致します。

大阪チームは高速の入り口まで、俺は松本駅までモサに送ってもらい帰路につく。しばらくお世話になった松本市を車中から眺めていると色々な事が思い出されて少々感傷的になった。12時発の「スーパーあずさ」に乗って東京へ。午後3時頃帰宅。久しぶりに合った愛猫の態度は前回にも増して冷たかった。



出発前 ロッジの前
で
モサ夫妻と



大町市の風景



大町市の風景
その2

4月25日(金)第2回目合宿を終えて

今回もどうにか無事合宿を終える事が出来て良かった。既にレコーディングの日程が決まっていた為、今回の合宿で仕上げなければと言うプレッシャーが各自にどこかあり(得に作曲担当のラリーさんは大変だったと思う)前回程のびのびとした雰囲気では無かったが、結果的に10枚目に相応しいと胸を張って言える楽曲が出揃った事は大きな喜びであり自信に繋がったと思う。また歌詞に関して、今回の合宿で今一度深い所まで掘り下げた上「ガーリックボーイズらしさ」といった部分まで意見交換が出来たのは、メンバーそれぞれ色々な意味で再確認もあり非常に有意義だったと思う。

今後の予定は5月2日に大阪、3日に東京とライブがある為、5月1日に大阪でスタジオに入り、楽曲の最終アレンジと詰めを行う。そして5月6日からいよいよレコーディングに突入する予定だ。

最後に、読んで下さってる皆さんへ報告させて頂きます。これを記している時点で、まだ全楽曲の完成形が見えている訳では無いのですが、個人的に今回は確実に良い物が出来るというなにか確信めいた物を感じております。とは言っても、楽曲の好みは人それぞれ違いますし、一概にそんな事言えない所がございます。なので、とりあえず我々は我々が自信を持ってお勧めできるアルバムを全力で作って行きたいと思います。だから皆さんは、どうか自分の耳で聞いて自分の判断で善し悪しを決めて頂けたら幸いです。是非アルバムの完成を楽しみにしておいて下さい。





5月12日(月)コバヤン脱退について

4月30日午後12時54分、携帯にコバヤンからメールが届いた。

「明日、スタジオに入る前に、みんなに話したい事があるねんけど……」

明日5月1日は、2日の大阪、3日の東京とライブがある為リハーサルをする事になっており、6日からのレコーディングにも備え6時間スタジオをおさえていた。正直、良い話で無い事は容易に想像出来た。スタジオに入る前に話をする必然性もないし、コバヤンからこんなに改まったメールが来る事も珍しかった。

5月1日午後3時頃。スタジオ入りの1時間前に近所のモスバーガーに集合する。コバヤンとペーさんが既に深刻な顔で話し合っていた。

「3日のライブで最後にしたい」

テンション低めにコバヤンが言った。ある程度覚悟はしていたが、コバヤン本人から直接言われるとやはりショックは大きく狼狽してしまった。まして、そんなに早い時期になるとは予想も出来なかった。

程なくラリーさんも到着して4人で話し合う。どうにかレコーディングだけでも……と、当然そんな意見も出たが、コバヤンの話を詳しく聞くに連れ、もうどうしようも無い状況である事が良く分かった。仮にアルバムを発売しても、4人で作った新曲をコバヤン抜きで演奏しツアーを廻る事にどれだけの意味があるのかも疑問だった。

気がつくと、午後9時を回っていてスタジオの時間が残り1時間を切っていた。とりあえずライブのリハーサルの為スタジオへ入る。「十二の春」を合わせていると、『リサイクル』のDVD版でエンディングに使ったヨーロッパの映像がオーバーラップしてきてどうしようもなく涙が流れて止められなかった。

午後11時頃からペーさん宅で今後について話し合う。当たり前だが結論は出なかった。とりあえず時間を置いて冷静になった頃、もう一度残り3人で集まり話し合う事にした。コバヤン脱退についての告知は、万が一の可能性を信じて発表を控える事にした。その後、部屋飲み。飽きる程この4人で飲んで来たが、この日のような空気を経験した事は一度も無かった。おっさんになると涙腺がゆるくなる事を確認出来た夜だった。午前5時頃就寝。

5月3日ライブ終了後、三軒茶屋の居酒屋でハウリングブル社長とブルースよしこを交え最後の話し合いをする。色々な意見が出たが、やはり最終結論は変わらなかった。「サヨナラライブ」といった事も考えたが、ここはコバヤンの申し出を尊重し、本日のライブで最後にする事になった。

この段に及んでやっと現実として受け止められるようになって来る。しかし同時に猛烈な寂しさと不安に襲われた。今までそれ程意識してきた事も無かったが、10年以上同じメンバーで演ってきたという実績と誇りを、メンバー脱退という最悪の事態により、初めて重みとして実感する事になってしまった。本当に辛かった……。しかし現実だった。

深夜になり、酒もまわってきた。ラリーさんと社長は勤めて明るく振る舞っていた。皆で下らない話にバカ笑いした。今まで気丈にしてきたコバヤンが最後に男泣きした。それを見てまたバカ笑いしてペーさんも俺も泣いた。

2003年5月4日 早朝、第10期ガーリックボーイズが幕を下ろした。



コバヤン 1988年 第7期ガーリックボーイズから参加。15年間ガーリックのリズムを支えて来ました。 ホンマにお疲れ

読んで頂いている皆様へ

このHPを始めた時「初めて訪れた方へ」の所に、完全ドキュメントで行きます！と宣言した手前、ガーリックボーイズで起きた出来事は全てレポートしてまいりましたが、まさかこんな内容をレポートしなければならなくなるとは夢にも思っていませんでした。残念です・・・。

ファンの方々には本当に申し訳ありませんが、今後のガーリックボーイズのスケジュールはすべて延期になりました。レコーディングもイベントもすべて延期です。具体的な活動予定は現在未定ですが決定次第、HP等で随時告知して行く予定ですので、宜しくお願いします。

キョー

